



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

現在どんな役割語研究がおこなわれているかがわかる 論文集

『役割語研究の展開』

著者：金水敏

出版社：くろしお出版

URL：http://www.9640.jp/

発行年月：2011年5月

ISBN：978-4-87424-522-4

判型・頁数：A5判、324頁 定価：3,675円



本書は「役割語」研究の論文集です。2007年に編集された『役割語研究の地平』（くろしお出版）の続編になります。「役割語」とは、話し方のヴァリエーションの一つで、たとえば、「わしが知っておる」といえば、発話者は「老人」であり、「私は知っててよ」といえば「お嬢様」、「拙者が存じておる」といえば「武士」という「キャラクタ」がイメージできます。この「キャラクタ」に応じたしゃべり方を「役割語」といいます。つまり、「ある特定の言葉遣い（語彙・語法・言い回し・イントネーション等）を聞くと特定の人物像（年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等）を思い浮かべることができる」といふ、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかに使用しそうな言葉遣いを思い浮かべることができる（金水敏（2003）『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』）の言葉遣いです。

第5部「ツンデレをめぐって」では、「ツンデレ」というコミック/アニメに特異なキャラクタの表現を分析した論文が2本おさめられています。

▽「オレがナンバー1だ！」

スポーツ放送の翻訳テロップでは、ウサイン・ボルト選手はいつも「オレ」と言い、マイケル・フェルプス選手は「僕」と言います。また、イシバエワ選手は「記録を出す秘訣なんてないわ」というような言い方（訳され方）をします。なぜでしょうか。本書を読めばその理由がわかります。今まで役割語について詳しく知らなかった方も、本書を通じて、役割語研究の世界にいざなわれることでしょう。また、アニメ・漫画を授業に取り入れたいと考えている教師にとっても本書はよい参考となるはずです。

▽役割語研究の現在を示す15本の論文

本論文集は5部に分かれています。
第1部「キャラクタをめぐって」は、役割語とキャラクタの関係、キャラクタと文法変化、コンテキストとの関係など、3本の論文からなっています。
第2部「教育と役割語」では、韓国の日本語教科書における役割語の役割と、翻訳という枠組みの中で役割語が持つ意義を論じた、実用・応用的側面を持った2本の論文。
第3部「外国語と役割語」では、スポーツ放送の翻訳テロップでの役割語の分析、コミックにおけるフランス語、ドイツ語の役割語の対照研究の論文3本、
第4部「さまざまな役割語」では、アニメ『風の谷のナウシカ』のキャラクタ、映像メディアの中の「沖縄人」、「幼児語」や西洋人キャラクタの「片言日本語」など、役割語のヴァリエーションについての論文5本、

大田 真由美

図1 「女性役割語」はテレビのスポーツ放送でも多用されている。中でも男性役割語を数多く使用しているのがスーパースターの翻訳テロップである。

4.1 男性役割語が多用される（スーパースター）

オリンピックには、しばしば全長が注目するスーパースターが現れる。過去には、4大会続けて出場し計9つの金メダルをとったカール・ルイス選手や、2004年大会で5つの金メダル（3大会で計8つの金メダル）をとった最後のマット・ビショップ選手などが挙げられる。

東京オリンピックにおけるスーパースターといえば、陸上男子100メートル～200メートル・400メートルリレーすべてで世界記録を出した金メダルをとり、新たな「世界最速の男」となったウサイン・ボルト選手（ジャマイカ・イストン・1）と、本気で史上初の8冠を達成したマイケル・フェルプス選手（アメリカ・イストン・2）であろう。

イストン1：ボルト選手

ボルト選手の翻訳テロップの場合、前述のように物理的・時間的制約があることから、簡潔に、中心文脈を少ない長文で伝える必要がある。通常の放送では少ない表現となることが多い。その中で、スーパースターの翻訳が特別な中で「スーパー」要素としてある。「優勝」しての「優勝」・「優勝」を「優勝」して「優勝」として表現する。

102

大田 真由美

5 「女王」の役割語「負ける気がしないわ」

5.1 女性役割語が多用される（女王）

男性役割語が数多く表れる（スーパースター）に対し、女性役割語が使われるのは、「女王」である。女王とは、女王陛下の御名を冠するイシバエワ選手（イストン・5）に対し、「神話級の女王」（後述に舞うワルドルの女王）と紹介されている。

イストン5：イシバエワ選手

図4は、NHKで放送された、イシバエワ選手すべての翻訳テロップである。いずれの文にも「わ」の「私」といふ、女性専用の人称代名詞を付けて訳されている。

表4：エリート・イシバエワ選手の翻訳テロップ分析

番号	翻訳テロップ本文	場面	放送日
1	記録を塗り替えた女王様	◎	8月24日
2	女王様は全米で一番速い	◎	8月24日
3	女王様は全米で一番速い	◎	8月24日

注1：イシバエワ選手（イシバエワ）は、2004年アテネオリンピックで100メートルリレーで金メダルを獲得した。注2：イシバエワ選手は、2008年北京オリンピックで100メートルリレーで金メダルを獲得した。注3：イシバエワ選手は、2008年北京オリンピックで100メートルリレーで金メダルを獲得した。注4：イシバエワ選手は、2008年北京オリンピックで100メートルリレーで金メダルを獲得した。注5：イシバエワ選手は、2008年北京オリンピックで100メートルリレーで金メダルを獲得した。

110

p.102

p.110

このコーナーの担当者：生田守/日本語国際センター専任講師